

けんかした親友

5年 物語文 10番

名前

そうたとは、幼なじみだ。いつも、いっしょにいるのが、あたりまえだった。それなのに、ぼくたちは、つまらないことで、けんかをしてしまった。きつかけは、たった一言。ぼくが、そうたのかいた絵を見て、「ちよつと、へんじやない。」と、言ってしまったことだった。

そうたは、かつとなって、「もう、お前なんかと、あそばない。」と、そつぽを向いた。ぼくも、自分からあやまるのが、なんだかくやくして、「こっちこそ。」と、言い返した。その日から、ぼくたちは、まったく口をきかなくなった。

一週間が、すぎた。ぼくは、教室で、わざと、そうたを見ないようにしていた。けれど、休み時間は、ちつとも楽しくない。給食の、大すきなおかずも、なんだか味がしない。(本当は、ぼくが、悪かったのかな……。)心の底では、とくに、そう気づいていた。ただ、あやまる、ゆうきが、出せなかっただけなのだ。

ある日の放課後、わすれ物を取りに、だれもない教室へもどると、そこに、そうたが、一人でいた。ふいに、目が、合う。しばらく、気まずい、ちんもくが続いた。先に、口を開いたのは、ぼくのほうだった。「……この前は、ごめん。ひどいこと、言った。」すると、そうたも、ぼそりと、言った。「……ぼくも、ごめん。」たった、それだけで、ぼくたちの間にあった、かたい氷は、すうつと、とけていった。

次の日から、ぼくたちは、また、いつものように、わらい合った。あのけんかを通して、ぼくは、一つ、大切なことを学んだ。近くに人ほど、その存在を、あたりまえに思っ、あまえてしまう。でも、本当は、あたりまえなんかじゃない。だから、大切な人にこそ、「ごめん」と「ありがとう」を、きちんと、言葉で伝えた

(1) ぼくとそうたが、けんかをしてしまったきつかけは、何ですか。文章の言葉を使って書きましょう。

(2) けんかのあと、休み時間や給食が「ちつとも楽しくない」「味がしない」のは、ぼくのどんな気持ちのあらわれですか。書きましょう。

(3) かたく対立していた二人の心が通い合ったのは、どんな言葉がきっかけですか。文章から書き出しましょう。

(4) 「かたい氷は、すうつと、とけていった」という表現は、二人のどんな様子を表していますか。最も適切なものを一つ選びましょう。

ア あやまり合って、二人の気まずさや仲たがいが、消えていく様子

イ 教室が、だんだん寒くなっていく様子

ウ 二人が、ますますおこっていく様子

エ そうたが、教室から出ていく様子

(5) この物語を通して、ぼくが学んだ「大切なこと」とは何ですか。文章の言葉を使ってまとめましょう。

例えば

「大切な人ほど、あたりまえに思わず、感しやや謝る気持ち

を言葉で伝えたい。」

「近くにいる人こそ、大事にしなければならないと感じた。」

けんかした親友

解答

5年 物語文 10番

名前

そうたとは、幼なじみだ。いつも、いっしょにいるのが、あたりまえだった。それなのに、ぼくたちは、つまらないことで、けんかをしてしまった。きつかけは、たった一言。ぼくが、そうたのかいた絵を見て、「ちよつと、へんじやない。」と、言ってしまったことだった。

そうたは、かつとなって、「もう、お前なんかと、あそばない。」と、そつぽを向いた。ぼくも、自分からあやまるのが、なんだかくやくして、「こっちこそ。」と、言い返した。その日から、ぼくたちは、まったく口をきかなくなった。

一週間が、すぎた。ぼくは、教室で、わざと、そうたを見ないようにしていた。けれど、休み時間は、ちつとも楽しくない。給食の、大すきなおかずも、なんだか味がしない。(本当は、ぼくが、悪かったのかな……。)心の底では、とくに、そう気づいていた。ただ、あやまる、ゆうきが、出せなかったただけなのだ。

ある日の放課後、わすれ物を取りに、だれもいない教室へもどると、そこに、そうたが、一人でいた。ふいに、目が、合う。しばらく、気まずい、ちんもくが続いた。先に、口を開いたのは、ぼくのほうだった。「……この前は、ごめん。ひどいこと、言った。」すると、そうたも、ぼそりと、言った。「……ぼくも、ごめん。」たった、それだけで、ぼくたちの間にあった、かたい氷は、すうつと、とけていった。

次の日から、ぼくたちは、また、いつものように、わらい合った。あのけんかを通して、ぼくは、一つ、大切なことを学んだ。近くに人ほど、その存在を、あたりまえに思っ、あまえてしまう。でも、本当は、あたりまえなんかじゃない。だから、大切な人にこそ、「ごめん」と「ありがとう」を、きちんと、言葉で伝えた

(1) ぼくとそうたが、けんかをしてしまったきつかけは、何ですか。文章の言葉を使って書きましょう。

(例) ぼくが、そうたのかいた絵を見て、「ちよつと、へんじやない」と言ってしまったこと。

(2) けんかのあと、休み時間や給食が「ちつとも楽しくない」「味がしない」のは、ぼくのどんな気持ちのあらわれですか。書きましょう。

(例) 本当はあやまりたいのに、それができず、親友と仲たがいたままにいる、後かいやさびしさの気持ち。

(3) かたく対立していた二人の心が通い合ったのは、どんな言葉がきっかけですか。文章から書き出しましょう。

(例) 「ごめん」(この前は、ごめん。)

(4) 「かたい氷は、すうつと、とけていった」という表現は、二人のどんな様子を表していますか。最も適切なものを一つ選びましょう。

ア あやまり合って、二人の気まずさや仲たがいが、消えていく様子

イ 教室が、だんだん寒くなっていく様子

ウ 二人が、ますますおこっていく様子

エ そうたが、教室から出ていく様子

(5) この物語を通して、ぼくが学んだ「大切なこと」とは何ですか。文章の言葉を使ってまとめましょう。

(例) 近くにいる大切な人ほど、あたりまえに思っ、あまえてしまうが、本当はあたりまえではない。だから、大切な人にこそ「ごめん」と「ありがとう」を、きちんと言葉で伝えたい、ということ。

例えば

「大切な人ほど、あたりまえに思わす、感しやや謝る気持ち

を言葉で伝えたい。」

「近くにいる人こそ、大事にしなければならないと感じた。」

解答・解説

けんかした親友（5年・物語文）

問1 （例）ぼくが、そうたのかいた絵を見て、「ちょっと、へんじゃない」と言ってしまったこと。

一つ目の段落に、けんかのきっかけが書かれています。

問2 （例）本当はあやまりたいのに、それができず、親友と仲たがいしたままにいる、後かいやさびしさの気持ち。

「悪かったのかな」「あやまるゆうきが出せなかった」から、後かいの気持ちを読み取ります。

問3 （例）「ごめん」（この前は、ごめん。）

四つ目の段落で、二人が「ごめん」と言い合ったことで、わだかまりが消えました。

問4 ア

「かたい氷」は、二人の間の気まずさや仲たがいのたとえです。それが「とけていった」＝仲直りした様子を表します。

問5 （例）近くにいる大切な人ほど、あたりまえに思ってあまえてしまうが、本当はあたりまえではない。だから、大切な人にこそ「ごめん」と「ありがとう」を、きちんと言葉で伝えたい、ということ。

最後の段落の、ぼくが学んだことをまとめます。